

2011年度 助成事業一覧

1 2011年度 研究助成採択者及び助成金額 一覧表

(1) 新規

氏名	所属	推薦機関	課題名	助成金額 (万円)
堀 賀 貴	九州大院 人間環境学研究院 教授 (西洋建築)	日本建築 学会	古代ローマ都市オステ アのジェネラルマップの 改訂とその三次元化	125
川 井 敬 二	熊本大院 自然科学研究科 助教 (建築環境工学)	日本建築 学会	日本における交通騒音社 会調査データアーカイブ の設立、およびデータの 二次分析を通じた騒音施 策のための科学的基盤の 提示	160
阪 田 弘 一	京都工芸繊維大院 工芸科学研究科 准教授 (建築造形学)	日本建築 学会	大規模災害時の応急居住 生活への持続的住環境改 善支援システム構築のため のアクションリサーチ	130
樋 山 恭 助	東京大 生産技術研究所 助教 (建築都市環境)	日本建築 学会	ゼロ・エネルギー熱源に よる住宅用デシカント空 調システムの開発	155
柴 錦 春	佐賀大院 工学研究科 教授 (環境地盤工学)	土木学会	真空圧と載荷荷重の併用 による地盤の圧密変形特 性	215
小 澤 満 津 雄	岐阜大 工学部 助教 (コンクリート工学)	土木学会	火災時におけるセメント 系材料の爆裂評価手法の 開発	120
今 井 剛	山口大院 工学研究科 教授 (環境衛生工学)	土木学会	発展途上国のための養殖 池等への新規酸素供給方 法の開発	125
堀 宗 朗	東京大 地震研究所 教授 (計算地震工学)	土木学会	地下空間を有する構造物 の免震・免波性能の研究	170
森 昌 司	横浜国立大院 工学研究院 准教授 (熱流体工学)	日本機械 学会	超親水性加工を施したハ ニカム多孔質体による限 界熱流束の向上とそのメ カニズムの解明	170

氏 名	所 属	推薦機関	課 題 名	助成金額 (万円)
小 林 恭 一	東京理科大 総合研究機構 教 授 (建 築 学)	日 本 火 災 学 会	老人介護福祉施設の火災 による死者数の低減を 目指した避難安全性手法の 実践的な研究	125
長 谷 川 兼 一	秋 田 県 立 大 システム科学 技 術 学 部 准 教 授 (建 築 環 境)	空 気 調 和 ・ 衛 生 工 学 会	津波による浸水被害住宅 における環境問題の実態 調査と改善手法の提案	155
小 高 猛 司	名 城 大 理 工 学 部 教 授 (地 盤 工 学)	地 盤 工 学 会	低レベル放射性廃棄物の 余裕深度処分に用いる高 密度ベントナイト遮水材 の力学特性の再評価	145
安 部 哲 人	(独)森林総合 研 究 所 九 州 支 所 主 任 研 究 員 (植物生態学)	日 本 生 態 学 会	世界自然遺産・小笠原諸 島の荒廃地における固有 樹種を用いた森林復元の 評価	110
千 葉 功	学 習 院 大 文 学 部 教 授 (日本近代史)	学 習 院 大	歴史学的アプローチによ る現代日本の都市生活・ 文化の起源解明のための 基礎的研究	165
吉 田 早 苗	東 京 大 史 料 編 纂 所 教 授 (日本古代史)	東 京 大 史 料 編 纂 所	前近代政務関係用語の古 記録全文翻訳における分 析と選択に関する研究	95
杉 本 智 俊	慶 應 義 塾 大 文 学 部 教 授 (西アジア考古学)	慶 應 義 塾 大	パレスチナ自治区におけ る考古遺跡の研究、保存、 活用の基盤整備に向けた 基礎的研究	245
深 見 奈 緒 子	早 稲 田 大 イスラーム地域 研 究 機 構 上 級 研 究 員 (イスラーム建築史)	早 稲 田 大	歴史的 multicultural 都市におけ る居住に関する多様性の 研究—世界遺産都市ペナ ンとマラッカ	235
研究助成 新規 計 17件				2,645

(2) 継 続

氏 名	所 属	推薦機関	課 題 名	助成金額 (万円)
大 崎 純	広 島 大 院 工 学 研 究 院 教 授 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	鋼構造骨組の制振デバイス最適化のための数値実験システムの開発	155
小 川 厚 治	熊 本 大 院 自 然 科 学 研 究 科 教 授 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	偏心をもつ鋼構造骨組の地震応答解析用単純化動力学モデル	110
向 出 静 司	大 阪 大 院 大 工 学 研 究 科 助 教 員 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	鋼構造露出柱脚に適用するための鋼管型ダンパーの開発	165
柏 尚 稔	大 阪 大 院 大 工 学 研 究 科 助 教 員 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	杭の損傷を低減させるための杭周囲地盤改良法の開発	120
瀧 野 敦 夫	大 阪 大 院 大 工 学 系 研 究 科 助 教 員 (地 球 総 合 工 学)	日 本 建 築 会 日 学	3次元有限要素解析を用いた伝統的木造建築物の耐震性能解析に関する研究	130
成 田 剛	日 本 工 業 大 工 学 部 准 教 授 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	ラオス国シェンクアン仏教寺院遺跡群保存のための修復技法に関する研究—シム(仏堂)遺構の緊急倒壊防止工事の実施と基礎・基壇の構造調査—	130
小 林 克 弘	首 都 大 学 東 京 院 都 市 環 境 科 学 研 究 科 教 授 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	コンバージョン建築海外事例に関する調査研究—日本国内におけるコンバージョン・デザインの向上を目指して	135
増 田 幸 宏	豊 橋 技 術 科 学 大 建 築 ・ 都 市 シ ス テ ム 学 系 准 教 授 (建 築 学)	日 本 建 築 会 日 学	災害に対する建物のレジリエンス(機能障害からの復旧能力)を評価する手法の開発と新たな災害保険制度への応用研究	115
呉 智 深	茨 城 大 学 工 学 部 教 授 (安 全 工 学)	土 木 学 会	橋梁構造物の早期損傷検知およびヘルスマonitoringのための動的ひずみ分布光ファイバセンシング技術の開発	120
長 井 宏 平	東 京 大 院 工 学 系 研 究 科 特 任 講 師 (社 会 基 盤 工 学)	土 木 学 会	縮退する中山間集落の広域との整合性のある持続再生	145
長 山 智 則	東 京 大 院 工 学 系 研 究 科 講 師 (土 木 環 境 工 学)	土 木 学 会	安価な無線センサを利用した地震時構造物挙動観測システムの構築	115

氏 名	所 属	推薦機関	課 題 名	助成金額 (万円)
ボンコックゲサクル・ナタコーン	高知工科大 社会マネジメント研究所 助 教 (社会基盤学)	土木学会	橋梁全体のLCC最小化 を成す定期点検戦略	60
吉 川 弘 道	東京都市大 総合研究所 教 授 (土木工学)	土木学会	既存構造施設に対する日 欧米統合型地震リスク評 価手法の開発と巨大災害 保険ポートフォリオへの 適用に関する研究	85
佐 野 友 紀	早稲田大院 人間科学学術院 准 教 授 (建設工学)	日本火災会 学 会	高層建築物内に存する保 育施設の実効性のある避 難安全計画	60
森 知 也	京 都 大 経済研究所 教 授 (地域科学)	京 都 大 経済研究所	空間経済のフラクタル構 造と中心地法則性に関す る実証・理論分析および その政策的含意	90
杉 山 正 明	京 都 大 院 文学研究科 教 授 (東洋史学)	京 都 大 院 文学研究科	モンゴル時代の 「知」の東西 —百科事典を中心に—	130
研究助成 継続 計			16件	1,865

研究助成 合計	33件	4,510
---------	-----	-------

2 2011年度 研究者交流援助採択者及び援助金額 一覧表

(1) 派遣 (長期)

申請者		研究課題	派遣先	派遣期間	日数	援助金額 (万円)	
氏名	所属機関・職名						
橋本勝文	北海道大院 工学研究院 助 教	放射性廃棄物処分におけるセメント固化体および放射性核種の超長期挙動の解明	イギリス	12. 10. 1 ～ 13. 9. 30	365	320	
ハンドフォード・マイケル	東京大院 工学系研究科 教 授	日本人土木技術者の国際求心力強化のためのテキスト教材開発	イギリス	12. 8. 1 ～ 13. 7. 31	365	330	
堂免隆浩	一橋大院 社会学研究科 准 教 授	英国の地方分権改革後におけるコミュニティ・プランへの住民関与の成立条件	イギリス	12. 9. 1 ～ 13. 8. 31	365	320	
派遣 (長 期)						計 3 件	970
派遣						合 計 3 件	970

(2) 受入れ (長期)

申請者		受入れ研究者			研究課題	期 間	援助金額 (万円)
氏名	所属機関・職名	氏名	所属機関・職名	国 籍			
小林 潔 司	京都大院 工学研究科 教 授	ルウオン・ファン・ビン	交通通信 大工学部 上級講師	ベトナム	ベトナムにおける橋梁を対象としたアセットマネジメントシステムの開発とその実装	12. 4. 1 ～ 13. 3. 31 365日間	170
受 入 れ					計 1 件		170
研究者交流援助合計					4 件		1, 140

3 2011年度 国際学術交流援助（国際研究集会開催援助）一覧表

No.	会 議 名	申 請 者	期 間	金 額 (万円)
I-1	海岸構造物に関する国際会議2011	組織委員長 港湾空港技術研究所 研究主監 高橋 重雄	11. 9.5 ～ 9.9	50
I-3	国際フォーラム「東アジア 共同体の現状と展望」	実行委員長 桜美林大学リベラルアーツ学群 教授 李 恩民	11. 7.1 ～ 7.3	50
I-4	第8回プラズマ応用科学国際 シンポジウム	組織委員長 大阪大学接合科学研究所 准教授 小林 明	11. 9.26 ～ 9.30	50
I-5	第3回熱と流れのシミュレ ーション・アジア国際シン ポジウム	実行委員長 諏訪東京理科大学 学長 河村 洋	11. 9.22 ～ 9.26	50
I-6	第6回日中シールド技術交 流会	実行委員長 早稲田大学創造理工学部 教授 小泉 淳	11. 8.3 ～ 8.5	50
		計	5件	250万円